

北いわて産業・社会革新ゾーンプロジェクトの推進と令和6年度の取組

目指す姿 あらゆる世代がいきいきと暮らし持続的に発展するゾーンの創造

現状と課題

- 北いわての基幹産業である農林水産業と豊富な再生可能エネルギー資源に着目し、それを結びつける新技術やJクレジットなどの新たな投資手法を生かした地域振興の取組が、地元企業を中心に各地で進んでいる。
- 東京大学を中心に、いわて県立大学と県の連携による「ゼロカーボンと豊かさの両立を目指すCOI-NEXT」の取組も始まっており、大学が有する高度な知見や民間力を生かして、各地の地域振興やイノベーションにつなげていく必要がある。
- DXの進展による地域振興を検討するため令和5年6月に産学官18組織が参画する二戸地域デジタル人材育成研究会が発足。
令和5年度の研究成果を、産学官が連携し企業現場、教育現場等で実践していく必要がある。

今後の展開

- あらゆる世代が活躍する地域産業の展開**
 - ・ 地域産業のDXの推進や国の制度活用により、若者や女性が活躍する地域産業を展開する。
 - ・ 木質バイオマス資源を生かした燃料・熱電供給ビジネスの創出や木質新素材などの新技術の誘致に向けた取組を進めていく。
- 北海道・北東北広域交流圏の形成による交流人口の拡大**
 - ・ NYタイムズ掲載を契機とした世界遺産や漆、琥珀などの地域資源を生かした交流人口の拡大につなげていく。
- 豊富な再生可能エネルギー資源を生かした地域の振興**
 - ・ 北いわてにおける洋上風力発電事業の導入の可能性を調査研究していく。
 - ・ 木質バイオマス資源や木質新素材などの新技術を生かした地域振興を進めていく。(再掲)
- 中山間地における快適な社会の形成**
 - ・ 市町村の先進的な取組の横展開や、大学の高度な知見を生かした地域づくりを推進していく。
- 地域の未来を担う人材の育成**
 - ・ 地域の産業や社会を牽引する次世代リーダーの育成と地元への定着を推進していく。
- 多様な主体の参画と協働による地域づくりの推進**
 - ・ 北いわて産業・社会革新推進コンソーシアムとCOI-NEXTが連動した先進的な取組を推進する。

令和6年度の具体的な取組

- あらゆる世代が活躍する地域産業の展開**
 - 拡**・二戸地域における地場企業のDXの推進(北いわてプラチナシティ推進事業費 7百万円[政プロ費])
 - 拡**・データ駆動型農業の実証研究や人材育成の推進(データ駆動型農業推進事業費 12百万円[政プロ費])
 - ・特定地域づくり事業協同組合の導入による多様な働き方の実現(活力ある小集落支援推進事業費 3百万円[政プロ費])
- 北海道・北東北広域交流圏の形成**
 - 新**・旅マエ、旅ナカにおける情報発信の強化など受入環境の整備の促進と海外へのプロモーション活動等を実施(世界が気づいた岩手の魅力発信事業費 17百万円[政プロ費])
 - ・北海道・北東北縄文遺跡群の国内外への情報発信(世界遺産保存活用事業費 10百万円)
- 豊富な再生可能エネルギー資源を生かした地域の振興**
 - 新**・農業における環境負荷低減技術などのモデル実証等を実施(高収益園芸作物DX・GX導入実証事業費 16百万円)
 - ・沿岸北部における洋上風力発電の事業化など海洋エネルギーの活用を促進(海洋エネルギー関連産業創出推進事業費 9百万円[政プロ費])
 - ・バイオマスを資源生かした経済循環モデルの確立(北いわてバイオマス資源活用推進事業費 2百万円)
- 中山間地における快適な社会の形成**
 - ・アクティブシニアの活躍によるコミュニティ形成(北いわてプラチナシティ推進事業費 7百万円[政プロ費])
 - 新**・共同配送管理システムやドローン等を活用したスマート物流の社会実装実現を目指す取組を実施(スマート物流等社会実装促進事業費 19百万円[政プロ費])
- 地域の未来を担う人材の育成**
 - ・高校での脱炭素・未来ワークショップの開催【COI-NEXT】
 - 拡**・安心して子育て子育てできる取組や地元就職、移住定住に向けた取組の推進(働くなら北いわて、暮らすなら北いわて推進事業費 5百万円)
- 多様な主体の参画と協働による地域づくりの推進**
 - ・産学官の力を結集した、北いわてが有するポテンシャルと新技術等を生かした取組により、北いわての産業振興と社会づくりを一体的に推進(北いわてプラチナシティ推進事業費 7百万円[政プロ費])

【令和6年度のコンソーシアムとCOI-NEXTの主な取組】

- バイオ炭による収益性の高い循環型農林業の確立、○ 木質バイオマス資源を生かした地域内エコシステムの構築、○ 環境配慮型の発電事業と畜産業の協業、○ 木質由来新素材活用プロジェクト、○ 二戸地域デジタル人材育成研究会、○ いわてクアオルトネットワーク構想、○ SDGs未来都市を生かした地域活性化、○ アクティブシニアの活躍機会の拡大、○ 特定地域づくり事業協同組合制度の導入拡大、○ 岩泉町における物流等でのドローン活用検討、○ 高校等における脱炭素未来ワークショップなどの人材育成、ほか

1 あらゆる世代が活躍する地域産業の展開

- 基幹産業である農林水産業と再生可能エネルギー資源を組み合わせ、新技術やJクレジットなどの新たな投資手法を生かした地域産業のイノベーションが各地で進んでいます。

- バイオ炭による収益性の高い循環型の農林業の確立（久慈市・岩手町）
- 木質バイオマス資源を活用した熱電供給ビジネスの拡大（一戸町・久慈市）
- ウニの増養殖溝を活用した藻場創出によるJブルークレジットの導入（洋野町）

- デジタル化によるAI活用や女性活躍、新分野参入等による企業の経営革新の推進と小中高生へのデジタル教育を推進するため、県、市町村、民間企業18団体で構成する「二戸地域デジタル人材育成研究会」が発足し調査研究を開始しました。

2 豊富な再生可能エネルギー資源を生かした地域の振興

- 沿岸北部等における洋上風力発電事業の実現に向け、海域の調査・研究並びに海洋再生可能エネルギー関連産業の創出に向けたビジョン作成等に取り組んでいます。

3 地域の未来を担う人材の育成

- 県立大学に設置したCOI-NEXT岩手サテライトが、地域の未来を牽引する人材育成の取組として一戸高校、葛巻高校で脱炭素未来ワークショップを開催しました。

4 多様な主体の参画と協働による地域づくりの推進

- 東京大学を中心に国内外34の大学や企業、行政等が参画し、北いわてを含む国内外5か所をフィールドにゼロカーボンと豊かさが両立する社会構築を目指すCOI-NEXTの取組が開始され、県内外の大学や企業など多様な主体が参画し、北いわての各地で研究開発や人材育成の取組が始まっています。

